

勉強で評判の店
丸萬家具店

臨時校舍に元平盲ろう校

と迅速に運動を展開したこと
が成功のもととなり、全く喜
びに耐えない。工事は大学に
も匹敵する学校で、われわれ
が多年要請して来た意願がか
かったワケだ。平市の工場誘
致は条件があまりよくないの
で

農家を救えと出陣

田原登

論壇

工専校の平市誘名の生徒と八十名の教授陣が平市に居住、または出入した。勿来や磐城は工場誘致に成功し、平市だけが取り残された感してあったが、工専校が建てたことになってこそ工場誘致にもまさる意義があり、このことは石城三十五万郡市民は勿論、福島県民の大きな喜びである。年来度から五年間に一千城の教育レベルが漸次に向上して平市は勿論、わが石城の教育レベルは一段と下り、周身のせまい思いをするところがあった。そのため大学誘致の世論がわき上つていたのであった。その矢先に政府は今年の六月一県一校の工専校建設の構想のもとこれを法文化したのである。諸橋平市長はこれを逃がすことなく大学誘致を工専誘致に乗替のだが、結局石城の中心文

ニュースを伝えたのであるところが全国的に激しい誘致合戦が展開されているので少しの油断もできなかつたが、大蔵省の予算化も確定したので予定通り実現を見ることになったのである。地元石城が結束して迅速に奔走して来たのであつた省とが成功のものであつた省みてこの仕事に努力した人々に対して感謝の意をささぐべきである。

来る石城産文祭の一異彩

で、これは後廻しになつても仕方がないだらう。

が平市にはさうさむい。来年は県立女子高女が県下に五校ぐらゐ建てられる計画もある

が、これも平市に誘致するやうになるだらう。

石城の産業の状況が一目で判る第十二回産業文化祭は来る二十三日から四日間平市で開催。ハツの会場で花々しく展示されるが、なかでも平鉄工業組（関口理事長）では、かく

展示され、開場とともに実演をして見せることになったので、石城郡下三百の業者は勿論、県内外の業者も多数押し掛けてくるものと見られ前人氣を呼んでいる。

にかつてない企画をたてた。組合員の創意工夫でできた百中、中央一流メーカー品にも匹敵する機械が出来ている。これとメーカーの協力を得て素晴らしいものが出陳されることになら

てない意気込みで二月も前から準備委員会を結成、予算三十万圓を投じて飛躍的な鉄工業の状況を展示すを。

展示場は平市役所前の道路両側に延べ五十間の小屋建に五十のコマをとり、此処に中央一流メーカーにも劣らぬ組合の製品を始め、メーカーの何れも近代的諸機械がずっりと

新しく飛躍しようとしている石城の鉄工業者に必要な諸機械がこれほど多数展示されることは初めてで、この産業文化祭予算が百万圓であるのに對して、そのやく三分の一の経費を投じて行つという力の入れ方である。

小橋主事の語に「石城の鉄工業が飛躍的な発展をとげるため

つたのだから業者は勿論のと一般の方もよく見て認識を新にしてもらいたい、

役所の勤務は
午後四時半まで

石城地区市町村の勤務時間が一日から冬時間にかわつた。
午前八時半から午後五時までは、午後四時半まで

上荒川の陥没問題で

五軒が地表陥没のため危険な
平市上荒川(宇五郎内)の郭婆民
瀕し問題となつてゐるが、平
市では捨ておける一日樋
口助後、荒井農林水産課長は
建築課員を連れ、また石炭支
局からも係員が一緒に現地を
視察した。市当局としては生
命に及ぼす問題だけに特に危
急平、鶴沼久隆の三氏に移転の
方をするのだが、移転には莫大
の費用がかかるので、移転には断
切れない。

鶴沼さん方では物置に腰泊り
している状態で、農民たちは
不安な明け暮れを送っている

野崎常務歸朝

歐米を視察
歐米のバス事情を視察中だった常盤交通の野崎理夫常務は四日振りて三日午後三時三七分平着で帰朝した。駅頭には諸橋市長を始め多数の出迎いで賑った。

名見が図

と推定している。▼金
水田の三分の一が被害を受けたワケで農家経済に大打撃を受けたのである。これは天災であるから政府は同く救済の方法を自発的に考慮すべきである。▼農業諸機関はこれに対策本部を設けて奥に陳情したが、米の等級格上りとかが発芽米の政府買上げ、所得増の減免などで救って欲しいと訴えたのである。▼県はこの陳情に対して全面的に受け容れてくれた。困ったときに加勢してくれるのが政府の責任だからである。法律と規則だけに頼らず、こうした不慮の災厄には進んで救済するものが生き残る政治である。

キヤラメル菓
子罐詰は新館

度々売場が空いて迷惑をお掛け
しておりますが、惣菜、食肉、佃
煮、漬物、パン、バター、和洋酒
海苔、鮮魚以外の食品は新館です
五日まで特売

果物罐詰 三ツネ	一〇〇円を九〇円	市
罐ジュース	一〇〇円を九〇円	
伊予みかん 一袋	一〇〇円	平
青森りんご	五〇円	
即席ラーメン	二〇円	
なめこ	一〇〇円を八〇円	

(新館一階食品売場)



国産品の誇り

個性美を活かす注文服
見てよし、着てよし、持ちもよし

大平洋服店

平市堂の前電 三九七二

最新式ししゅう用シンガミシン新設

大平洋服店ネーム部

すしの

江戸川 湯本店

湯本温泉 山形屋旅館脇
(元玉寿し跡) 電二四四九

藤越

地学同好会とアポロ会

永勤者を表彰

ルで次の十一人を表彰した	二二) 岡田幸雄(同) 阿田光
カッコ内は勲続年数)	雄(同)▽片倉工場 北原勝
▽磐城通運 三本杉幸平(二	治(二八)▽磐城貨物 片桐
四) 小野瀬秀彦(二三) 吉田	重治(三三) 片寄虎二(二六
三郎(二〇) 坂本一(二二)	一) 佐川公一(三三) 山田伝
▽常盤交通 田仲竹久(二二)	二六)▽福島産業 寺島榮
▽東北電力 渡辺七郎(三	治(二〇)▽興羽化学鋸工場
二) 高坂国夫(二三) 関内幸	蛭田正六(二五) 相沢明徳(

その歴史的事実の探究

解除したばかりか、その年の
議會は三ヶ年統続で三萬八千
五百圓と石川丸を交付し、更
に支那海で夕捕した運送船を
貸下けた。越えて三十二年に
はセムシ丸、報効丸の貸下げ
を受けて、ラック、オットセ
イの海獸狩場を開拓して、東
北各地から企業家を迎入れた
△
その翌年は、たら漁場を開
拓し、ステック・フイシユと
して海外輸出に成功した。太
尉自らは、石川丸に乗船して
カムチャツカ海域のさげ、ま
ず漁に従事した。その頃は
小来、江名、四倉等の漁夫の
備わって漁船に乗り込み、さ
げ。まず景氣を奮えていっ
ち、明治三十七年オルゼー
河口でスバイけんぎで、大尉
は逮捕され、露國の首都に送
られて、獄告につながれた。▽

狩獵解禁日 好天に恵まれ

ら獺場に押し掛けたが、メスはかり多くてオスは案外少なく、平狭友会会長遠山勇氏の話によると平均一人一羽は射落すものらしい。雄三三三三

▽県知事賞「母を助けて」磐城市下町四一 会社員志賀千子（二六）

▽福島県労基局長賞「新開地産」平戸六人町四二

またまた米国漁師船長に逢
い、日露講和条約中ときき、
小村寿太郎全權宛の密書を同
船長に託した。その内容は「
沿海州は魚鮮密集地で、漁舟
にも便利故、講和条約には北
洋漁業の一項を加えて欲しい
」と云ふもので、密書は無事
全權の手に渡った。

講和の結果、南樺太がわが
領有となつたばかり、沿海州
漁業についても日露の漁業協
約が出来て、始めて北洋漁業
の基礎が確立した。大尉は、
露領沿海州水産組合長に就任
した。これよりさき大尉は、
条約交渉中に脱獄して、命か
らがら小舟に乗つてセム島
に帰着していた。

こうして四十一年には堤清
六の罐詰工業が起り、さげ、
ますの罐詰を大豊に輸出した
罐詰工業はカムチャツカ工場
を根拠として年々発達して、
大正六年頃はさげの漁獲高九
百万尾、いまの金にして六億
円と推定されるほどの漁獲を
あげた。

その頃は、日露の軍艦が北
洋に於て絶えず紛争を起し
たが、日本は帝國海軍として
武勇伝を相当に發揮し、漁夫
達に優越感を与へた。そうし
ているうちに、大正六年の大
革命となり、ソ連共和國の誕
生となつたのである。

羽はハントの手に入ったと予想される。

石城の獐場は川前、入遠野上遠野 三和、小川、久之浜末統方面で東京や夜城方面からもハイヤトで押し掛け、なかには女流ハンターもささるうたるいでたででかけ廻っているのが目立った。遼山会長らは四人組で川前村の志田名から薬方城を二手に別れ、十二羽のキジに遭遇したが、メスが多くて射落したのはオス五羽だけだ。錦しゆつに色どられた秋色を眺めて帰った。いまは紅葉にさえきられて狩獐は思つたよりにならないが、月末の落葉するころには獐は本格化して、期待されている。

新聞配達員吉田メノ男（二三）「勤く生活から」平市葦川町 常盤交通葦掌館不好子（二七）

▽県青少年問題協議会長長音「私の経験から」平市市間門二二ノ八 常盤交通葦掌野不イソ子（二七）

▽福島市長長音「牛乳瓶の音」磐城市定西三三九牛乳配達員大和田保雄（二三）

**豊間海岸に
アワビ移植**

平市農林水産課はこしも沿岸漁業振興事業として豊間漁港に委託し、種アワビの移植を行う。

予算は補助金を加へ七万円。

郵便貯金好成績者を表彰

郵便貯金に好成绩を示した団体などが来る十七日表彰される。平郵便局関係では藤越従業員貯蓄組合（二七〇人）には輝や、郵政大臣賞を授与される。同組は三月四月結成、三六万八千現在貯金五百七十万円という好成绩である。表彰を受けるもの次の通り。

▽郵政大臣賞　藤越従業員貯蓄組合
▽貯金局長賞　平館従業員貯蓄組合、好間一小職員、小名多
浜第一婦人会、常磐炭礦南又
▽郵政局長賞　平市役所職員
好間村役場吏員会、山田婦人会和泉
▽貯蓄奨励功績者（貯金局長長賞）石川政子、平市平窪
▽郵政局長賞　好間村の鈴木進、平市華川町の花沢行雄

働く少年の作文入賞者

十一月一日から十日まで行なわれる勤く年少者の保護運動にちなみ福島婦人少年室では先に「勤く年少者の生活文」を広く募集していたが、その入賞者が決定、磐城市花畑二

夕げにも
初秋のかおり
にくの味
緑屋の精肉と食品
お惣菜をどうぞ

ら店
たい支店
本

緑屋
平市駅前中央通
TEL 2794
平市一丁目
TEL2539

平市田町五三（いわき民報向）
電 六六七二

会長永野孝夫氏はこのほど、県に謝し表謝状を贈った。

PTA連合会から感謝状を贈られた。永年県PTA連の副会長として功績があったもの、平一小でも前会長としての功績

